

Balcoonにカウンター一体型洗面ボウルが登場 パトリシア・ウルキオラが描く、洗面空間の新しいかたち



ドイツを代表するデザイナーズバスルームブランド「Duravit (デュラビット)」は、世界的デザイナー パトリシア・ウルキオラが手がけるバスルームコレクション「Balcoon」に、新たにカウンター一体型洗面ボウルを追加しました。

Balcoon (バルクーン) は、異なる高さや形状の組み合わせを巧みに取り入れ、空間に開放感と奥行きをもたらすコレクションです。今回登場したセラミック製の洗面ボウルは、モノリシックな直方体フォルムにボウルをシームレスに一体化したデザインが特徴です。

フラットなカウンターからボウルへと滑らかにつながるラインと、オーバル型に立ち上がる繊細なリムが外形を際立たせ、控えめでありながら洗練された印象を生み出します。ゆとりあるカウンタースペースは、落ち着いた佇まいと建築的な存在感を引き立て、現代のバスルームに調和するタイムレスなデザインを実現します。

詳細は次のページです。 ※国内販売時期は現時点では未定ですので追ってご案内します。

Balcoon

Design by Patricia Urquiola



左：洗面ボウル #241280AM00 クレイ テラ マット 800 x 480mm、右：洗面ボウル #241213AC00 ホワイトサテンマット 1300 x 480 mm

追加製品ラインアップ

幅600mm、800mm、1000mm、ダブルボウル仕様の1300mmの4サイズを展開。カラーはホワイト、マットホワイト、テラコッタ調のクレイ テラ マットの3色をラインアップし、ナチュラルでモダンな空間を演出します。

空間価値を高めるデザイン

精緻な洗面ボウルとファニチャーが調和し、多様なキャビネット構成により統一感のある空間を実現するBalcoonシリーズ。質感豊かな仕上げとナチュラルなカラスキーム、ホワイト、アースブラウン、アンスラサイトの多彩な色調が、幅広いコーディネートを可能にします。さらに水栓もラインアップし、クローム、ブラッシュドステンレス、マットブラックの3種類を展開。空間全体の調和を高めます。

中価格帯で実現するプレミアムな機能

Balcoonは、上質な仕上げと耐久性に優れた素材を用いながらも、中価格帯を実現。住宅からハイエンドプロジェクトまで幅広い用途に対応し、ウルキオラの美学が息づく上質なデザインを多様な空間へ提案します。

Patricia Urquiola (パトリア・ウルキオラ)

マドリド工科大学で建築とデザインを学び、ミラノ工科大学ではアキッレ・カステリオーニに師事。De Padovaでヴィコ・マジストレッティと共に働いた後、Lissoni and Partnersではデザイン部門の責任者として活躍。2001年にはミラノに自身のスタジオを設立し、プロダクトデザインから建築、アートディレクション、ブランド戦略まで幅広い分野で活動を展開しています。2015年よりCassinaのクリエイティブ・ディレクターを務め、Haworth、Louis Vuitton、B&B Italia、Moroso、Flos、Kvadrat、BMW、スターバックス、Ferrariなど、世界的なブランドとのコラボレーションも多数。彼女の作品は、ニューヨークのMoMA、ロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館、ミラノのトリエンナーレ美術館など、世界各地の美術館に収蔵・展示されています。



Duravit について

1817年にドイツ、ブラックフォレストのホルンベルクで創業したDuravit（デュラビット）は、今日では世界130か国以上で事業を展開するデザイナーズバスルームのリーディングカンパニーです。バスルームに必要な製品を総合的にデザイン、製造を行うDuravitは、セシリエ・マンツ、フリッツ・スタルク、アントニオ・チッテリオ、クリスチャン・ヴェルナー、セバスチャン・ヘルクナー、パトリシア・ウルキオラなど国際的な著名デザイナー陣と緊密に協力し、製品開発を進めています。Duravitは 2045 年までに完全なクライメイト・ニュートラルを目指しており、可能な限りカーボン・オフセットに頼らない取り組みを行っています。

お問合せ先

デュラビット・ジャパン / URL www.duravit.co.jp TEL 03-5428-4605 FAX 03-5428-4607 EMAIL info@jp.duravit.com

報道関係者 お問合せ先

デュラビット・ジャパン 金澤 ちひろ

TEL 03-5428-4605 FAX 03-5428-4607 EMAIL chihiro.kanazawa@jp.duravit.com